

創薬研究では対象となる分子の立体構造を決定し、その構造に基づいて分子設計指針とするアプローチが広く一般化している。X線結晶解析、NMRに次ぐ新しい構造解析手法が電子線回折法（Micro-crystal Electron Diffraction: Micro ED法）である。ここ数年注目度が急速に高まっている手法だが、X線の手法を流用しているため、現在までのところ通常のX線結晶解析に比べて解析精度が低い。本研究課題ではMicro ED法の解析精度向上に必要な要素技術を開発する。